

🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年5月13日

【2019年5月4日～2019年5月10日までの推移】

【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。年金改革への進展期待が高まったものの、米中貿易交渉に関する懸念が高まったことなどから、リスク回避の動きが進みブラジル・レアルは下落しました。また、発表された経済指標が弱含んだこともブラジル・レアルの重石となりました。

年金改革については、下院特別委員会での支持票について楽観的な見通しが示されたことや、最新の世論調査で国民の59%が年金改革法案に理解を示したことなどが好感されました。また、ボルソナロ大統領が中道政党の要望であった地域開発省の分割に合意したことも政府が野党に歩み寄りを示したと捉えられ、法案審議進展への期待が高まり、ブラジル国債は買われ金利は低下しました。一方、米中貿易交渉に関する懸念が高まったことなどから、リスク回避の動きが進みブラジル・レアルは下落しました。

経済指標に関しては、3月の小売売上高や4月のサービス業PMI（購買担当者指数）、IPCAインフレ率などが発表されました。3月の小売売上高は市場の予想以上の落ち込みとなりました。4月のサービス業PMIも低下し、景況感の改善と悪化の分岐点である50を下回りました。インフレ率についても市場予想を下回る内容となりました。また、ブラジル中央銀行からは政策金利が発表されましたが、事前の予想通り6.5%で据え置かれました。

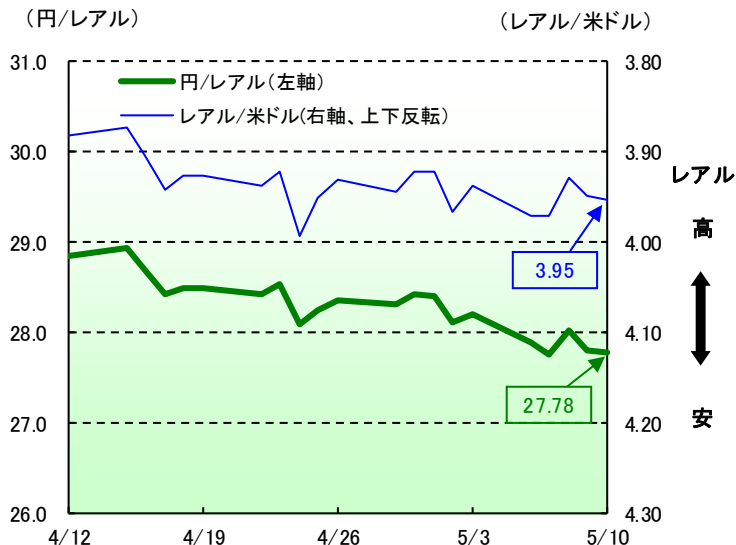
【2】今週の見通し

今週は、経済活動指数などの経済指標の発表が予定されています。

足元、ブラジルの経済指標は弱含んでいますが、ゲダス経済相は年金改革が進展すれば7月頃から経済は回復基調を取り戻すと述べています。またロイター社が、改革が実行に移されればブラジルへの直接投資が拡大し、ブラジル投資ブームが再来するとの記事を掲載しており、引き続き年金改革の進展、ブラジル経済の回復に期待したいと思います。

【ブラジル・レアル 為替推移】

(2019年4月12日～2019年5月10日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2019年4月12日～2019年5月10日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management